

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和8年第34週 (8月17日～8月23日)



感染性胃腸炎にご注意ください

豊肥管内の定点あたりの報告数は0.67人でした。大分県全体では定点あたり5.78人と、先週と比較して増加しました。感染性胃腸炎の原因の多くはウイルスや細菌で、手指や食品を介して感染します。主な症状は、下痢、嘔吐、腹痛、発熱などです。予防のためには、調理前やトイレの後の手洗いをしっかり行い、食品を中心まで十分に加熱しましょう。嘔吐物や便を処理する際は、使い捨て手袋・マスク・ガウンを使用し、次亜塩素酸ナトリウムで消毒してください。症状が続く場合や水分摂取が困難な場合は、早めに医療機関を受診しましょう。特に、乳幼児や高齢者では、脱水に注意が必要です。



新型コロナウイルス感染症は減少しました

今週は5名の報告となり、先週の12名から減少しました。大分県全体でも定点あたり0.93人と減少しています。

突発性発疹について

突発性発疹は、主に生後6か月～1歳ごろの乳幼児に多い感染症です。突然38℃以上の高熱が3～4日続き、熱が下がった後に、体幹を中心に赤い発しんが現れるのが特徴です。発熱中は機嫌が悪くなることがあります。基本的には自然に回復しますが、高熱に伴う熱性けいれんに注意が必要です。けいれんが続く、意識がおかしい、水分がとれないなどの場合は早めに医療機関を受診しましょう。

(第34週)

(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻疹(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳												1							
4～6歳																			
7～9歳																			
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上				5				2											
今週				5				2				1							
70歳以上(再掲)				3															
先週				12															

